

チェルノブイリ法をつくった事故処理作業者 アレクサンドル・ヴェリキンさん 再来日!

チェルノブイリから福島へ 「安全に暮らす権利」とは

2015年11月26日 (木) 18:30~20:30

パルシステム東新宿本部 2 F



1986年に発生したチェルノブイリ原発事故は、たいへんな被害と汚染をもたらしました。事故の収束のため、65万人もの軍人や専門家が作業に当たりました。これらの原発事故収束に当たった人々は「リクビダートル」と呼ばれました。アレクサンドル・ヴェリキンさんもこの一人。

今回、ヴェリキンさんを迎え、チェルノブイリ法制定の過程でリクビダートルたちが果たした役割、「安全に暮らす権利」の獲得の道筋について議論します。

- ◆会場案内: パルシステム東新宿本部 2F (右図)
住所: 東京都新宿区大久保2-2-6 ラクアス東新宿
最寄り駅: 都営大江戸線・東京メトロ副都心線東新宿
- ◆資料代 700円 ※言語: 逐次通訳あり(ロシア語)
- ◆定員 100人(要予約)
- ◆お申込み: 下記のURLよりお申込みください。またはファックスまたはメールにて、件名を「ヴェリキン氏講演会申込み」とし、①ご氏名、②ご連絡先をお送りください。 goo.gl/5L9Jiu
- ◆プログラム 1)アレクサンドル・ヴェリキンさん講演
2)日本での状況との比較: 吉田由布子(「チェルノブイリ被害調査・救援」女性ネットワーク)
3)ディスカッション-ヴェリキンさんに聞く
- ◆主催: 「チェルノブイリ被害調査・救援」女性ネットワーク、OurPlanet-TV、原子力市民委員会、福島老朽原発を考える会、FoE Japan
- ◆協力 パルシステム生活共同組合連合会
- ◆問合せ FoE Japan
Tel: 03-6909-5983 Fax: 03-6909-5986 携帯: 090-6142-1807
E-mail: kanna.mitsuta@nifty.com



関連企画

チェルノブイリ事故の健康影響とは ウクライナ放射線医学研究センター チュマク博士来日講演

チェルノブイリ事故の影響により、甲状腺がんや白血病などの腫瘍だけでなく、様々な非がん系の疾病が観察されている...事故25年目に公表された『ウクライナ国家報告書』は、福島原発事故を経験した日本に大きな衝撃を与えました。この『国家報告書』で“健康影響”の章を監修したアナトリー・チュマク博士が来日します。チェルノブイリ原発事故から来年で30年。ウクライナにおける研究の最新情報や健診体制・医療支援などについてお話いただけます。

- ◆日時: 11月24日(火)14:00~16:30
- ◆場所: 参議院議員会館101会議室(最寄り駅:永田町、国会議事堂前)
- ◆資料代: 1,000円 ※言語: 逐次通訳あり(ロシア語)
- ◆申込み: 先着順。右記URLからお申し込みください。 goo.gl/FiUWSy
- ◆問合せ: 03-3296-2720 (OurPlanetTV)